

日本農業新聞
2006年(平成18年)6月7日(水)(第10面)

事業化へ研究成果発表

十勝圏
振興機構

十勝圏振興機構(十勝財団)はこのほど、帯広市内で十勝エリア事業成果発表会を開いた。パレイシヨでんぶんのかすからペプチドを抽出し、悪玉コレステロールを下げる効果が確認されたなどの内容が報告された。

同事業は帯広畜産大学をはじめ道内外の大学や試験研究機関とJ A、商工団体が連携して進める、文部科学省の「都市エリ」ア産学官連携促進事業の一つ。十勝産のパレイシヨやナガイモ、ソバ、豆類、食品会社から150人が

参加した。発表会ではそのほか、ソバ、豆類から抗がん作用があり、悪玉コレステロールを下げると言われるスプラウトの生産技術開発や、ナガイモの腸内環境や脂質代謝の改善効果に関する基礎的研究などについて報告された。

参加した。

発表会ではそのほか、ソバ、豆類から抗がん作用があり、悪玉コレステロールを下げると言われるスプラウトの生産技術開発や、ナガイモの腸内環境や脂質代謝の改善効果に関する基礎的研究などについて報告された。